科目番号	53205	分類	専門科目 看護教育科学領域	履修者	看護科学コース （看護教育・研究者プログラム）	学年
科目名	看護教育学演習Ⅲ （ Seminar in Science of Nursing Education Ⅲ ）					2 配当セメスター 通年

担当者	○上國料　美香	区分	選択	単位	2	時間数	30

授業の概要および目標	学位授与の方針との関連	
【概要】 科学的根拠に基づく教育（EBE）の実現に向けて、教育的役割を担う看護職者として必要な能力の修得を目ざす。具体的には、看護基礎教育課程における授業計画を立案し、模擬授業を実施する。また、看護基礎教育および看護学士教育に関する政策医療の動向とその背景を理解し、看護学教育の課題を検討する。 【目標】 1. 看護基礎教育課程における授業計画を作成する過程を理解する。 2. 模擬授業の実施と自己評価をとおし、授業計画の展開および自己の課題を見いだす。 3. 模擬授業の参加観察をとおし、授業計画を反映した教授活動を理解する。 4. 看護基礎・継続教育に携わる際に授業計画を作成する意義を説明する。 5. 看護学実習に関する政策医療の動向とその背景を説明する。		1. 看護学の継承・発展を担うための研究能力
		2. 臨床現場で「つかえる」エビデンスを「つくり」「つたえる」ことができる能力
	○	3. 臨床現場との連携を図りながら看護基礎教育を担うことができる能力
	○	4. 実践を行いながら学部学生の臨地実習指導、新人看護師等の現任教育、生涯教育・卒後教育への支援や指導ができる能力

授　業　計　画

回	内　容	担当教員
第１回	ガイダンス 授業の目的、目標、授業展開の理解	上國料
第２～９回	統合カリキュラム編成の実際（形成段階） 授業計画：科目と単元の決定、目的・目標の設定	
第 10～19 回	授業案の作成、教材の作成、模擬授業	
第 20～25 回	授業計画の課題と修正の成果の共有、模擬授業 授業計画・教授活動の自己評価と課題の検討 授業計画を立案する意義	
第 26～30 回	看護基礎教育および看護学士教育に関する政策医療の理解 看護基礎教育・看護学士教育に関する政策医療に関する政策医療の動向とその背景	

事前・事後学習	事前学習：　各回に該当する参考図書や関連文献を精読する。 事後学習：　各回の内容について参考図書等を用いて復習する。授業計画を修正する。 単位と時間数に応じた学習時間（学生便覧参照）を参考に取り組む。
評価の方法	参加状況・演習成果（70%）、課題レポート（30%）により総合的に評価する。 フィードバックは適宜行う。
参考図書・資料等	◎　舟島なをみ：看護教育学における授業展開－質の高い講義・演習・実習の実現に向けて－第２版，医学書院，2020. ◎　杉森みど里・舟島なをみ：看護教育学 第8版，医学書院，2024. ・　舟島なをみ監修：院内教育プログラムの立案・実施・評価第 2 版、医学書院、2015. ・　中井俊樹他編：授業設計と教育評価，医学書院，　2018. ・　佐藤みつ子：看護教育における授業設計，医学書院，　2009. ・　文部科学省：看護学教育モデル・コア・カリキュラム（改訂案） ・　文部科学省：看護学士課程教育における コアコンピテンシーと卒業時到達目標 参考書・資料は適宜に紹介する。◎必須図書
備　　考	オフィスアワーは、学生ホールの電子掲示板および学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。